

## オーラルフレイル対策事業について

### 1. オーラルフレイルについて

- ・フレイルとは、病気ではないが年齢とともに活力が低下し、要介護になりやすい状態のことをいい、人との交流（社会参加）や運動・栄養を見直しバランスよく取り組むことで、予防ができるというものである。
- ・オーラルフレイルとは口の機能の衰えをいい、口の機能が衰えると栄養が摂れなくなることでフレイルや要介護状態へとつながるものであり、フレイルの前段階といわれている。

### 2. オーラルフレイルチェック事業を開始

令和3年9月より前期高齢者の入り口である65歳の市民を対象として、地域の歯科医院においてオーラルフレイルチェック事業を開始した。

オーラルフレイルを早期に発見し口腔機能の回復を図ることでフレイルを予防し、かかりつけ歯科医での定期健診へとつなげていく。

さらに、チェックの結果、口腔機能低下が認められ介護予防の取組みが必要な場合は、あんしんすこやかセンターと連携し、支援が必要な方を適切なサービスへ繋げていく。

#### （1）具体的な実施内容について

- ① 対象者：前期高齢者の入り口となる65歳の市民 17,353人  
(昭和30年4月1日生まれ～昭和31年3月31日生まれ)
- ② 案内方法：オーラルフレイルチェックのご案内、無料クーポン券、実施医療機関(636か所)の一覧を本日(9月13日)に一斉に郵送します。
- ③ チェック項目：歯や嚙み合わせの状況(咀嚼機能)、滑舌(舌口唇運動機能)や嚥下機能、口の乾燥等をチェックし、歯科医師や歯科衛生士による指導を行う。

#### （2）オーラルフレイルチェックの判定結果に基づく対応

- ① 口のトレーニングが必要と判定された場合は、口腔機能トレーニング動画及び「アクティブシニアのためのオーラルフレイル予防ハンドブック」(神戸市歯科医師会作成)を活用した自己トレーニングを指導し、口の機能の改善を図る。
- ② 歯科治療が必要と判定された場合は、歯科医院において適切な治療を受けることで、口の機能の改善を図る。さらに、継続した定期管理を行うことにより、口腔の健康を保持する。
- ③ 口腔機能の低下が認められ介護予防の取組みが必要と判定された場合は、あんしんすこやかセンターを案内し、フレイル改善通所サービス等の適切な支援を行い、地域で継続的に口腔体操を含めたフレイル改善ができるよう支援していく。

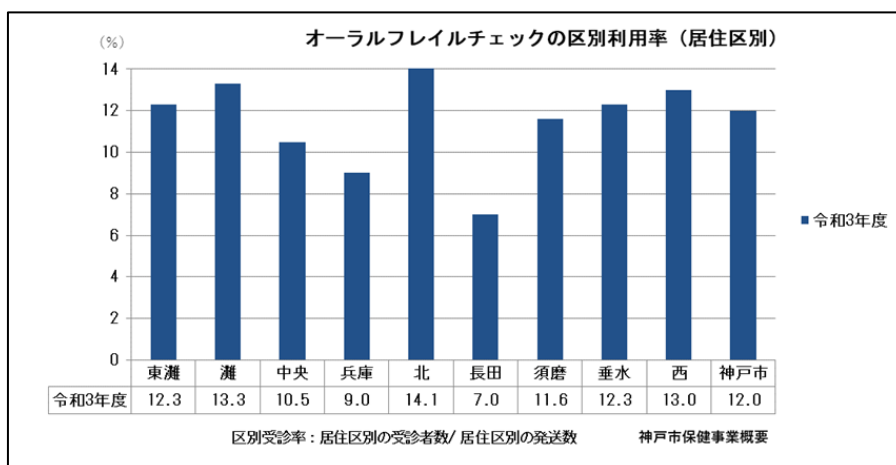
##### ※フレイル改善通所サービス

フレイル状態の方に向けた介護予防教室(週1回90分のメニュー)の中で、口腔体操を約10分程度実施、自宅でも口腔のトレーニングを行ってもらう。

### (3) 令和3年度オーラルフレイルチェック事業 実施結果

利用者数 2,083人 (12.0%) 対象者(65歳市民) 17,353人

令和3年度	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区	神戸市
居住区別利用者数	274	176	147	103	369	75	220	298	421	2,083
65歳対象者数	2,228	1,327	1,399	1,140	2,615	1,078	1,898	2,423	3,245	17,353
利用率	12.3%	13.3%	10.5%	9.0%	14.1%	7.0%	11.6%	12.3%	13.0%	12.0%



#### 【判定結果】

① 異常なし	437人(21.0%)
② オーラルフレイル	1,646人(79.0%)
口腔機能低下症の可能性あり	261人(全体の12.5%)
計	2,083人

#### 【今後の方針】(重複あり)

① 口腔機能トレーニング勧奨	1,505人(72.3%)
② 治療・精密検査の勧奨	768人(36.9%)
③ あんしんすこやかセンターへ紹介	50人(2.4%)

#### 【神戸市歯科医師会の取組み】

- ① 名刺サイズの啓発カードを作成し、各区役所窓口や図書館など市民に広く配布した。



オーラルフレイル啓発カード

【その他の取り組み】

- ・ 国民健康保険医療費のお知らせ通知はがきへの啓発記事掲載（約 167,000 人）



国民健康保険医療費のお知らせ

3. 令和4年度の取り組みについて

- ① 令和4年度オーラルフレイルチェック事業は、利用期間を拡大し、事業開始時期を5月9日からとして、対象者 17,301 人にオーラルフレイルチェック事業のご案内を送付した。

令和4年度ご案内封筒とチラシ



- ② 令和4年9月には、市歯科医師会において指定医療機関を対象に研修会を実施し歯科専門職の資質向上を図る予定。
- ③ 啓発活動としては、オーラルフレイル予防をテーマとした市政広報ポスターを配布予定（自治会・婦人会など約 1800 団体）。  
また、国民健康保険医療費通知はがき（対象者 167,000 人）にオーラルフレイル啓発記事を掲載予定。



今年度も引き続き、フレイル予防への取り組みを着実に進めていきます。